

第45回木材の化学加工研究会シンポジウム開催のご案内

『木材の化学加工におけるスケールフリーテクノロジー』

主催：一般社団法人 日本木材学会 木材の化学加工研究会
協賛：産総研コンソーシアム持続性木質資源工業技術研究会
(公社) 日本木材加工技術協会, (公社) 日本木材保存協会

各位

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、日本木材学会 木材の化学加工研究会では、下記の日程で第45回木材の化学加工研究会シンポジウムを開催いたします。つきましては、この機会に多くの方々に是非ご参加いただきたく、ご案内申し上げます。 敬具

日程：平成27年10月22日(木)～23日(金)

会場：福山商工会議所本所

〒720-0067 広島県福山市西町2丁目10-1, TEL 084-921-2345

<http://www.fukuyama.or.jp/>

会費：講演会(一般4,500円, 学生2,000円: 講演集代を含む)

見学会(1,500円), 懇親会(6,000円), 講演集(1,500円)

10月22日(木)

<シンポジウム>

受付 13:00～

開会挨拶 13:30～ 三木 恒久(国立研究開発法人 産業技術総合研究所・当研究会代表幹事)

1) 13:35-14:05 神林 徹, 宮藤 久士(京都府立大学大学院 生命環境科学研究科)

「イオン液体処理による木材の液化技術」

イオン液体は、常温付近に融点を持つ有機塩の総称であり、不揮発性や化学的・熱的安定性、難燃性などユニークな性質を併せ持つ。木材のエネルギー利用や有用化学物質への効果的な変換技術が模索される中、木材の液化能を有し環境負荷が小さいとされるイオン液体は、木材の新たな反応媒体として注目されている。本研究会では、イオン液体と木材の反応性に関する基礎的な研究成果を、化学的および組織形態的な観点から紹介する。

2) 14:05-14:35 熊谷 明夫(国立研究開発法人 産業技術総合研究所 材料・化学領域)

「木材のナノファイバー化と補強繊維としての利用技術」

木材を始めとする植物由来のバイオマス資源を原料とするセルロースナノファイバー(CNF)は、高強度、高弾性、低線熱膨張など優れた材料特性を有することから、樹脂などの補強繊維としての利用が期待されている。一般的にCNFの原料には木材パルプが用いられるが、我々は木材から直接製造するリグノセルリースナノファイバー(LCNF)を研究対象として来た。本講演では、LCNFを製造する技術、パルプ化工程で除かれる木質由来成分を含むLCNFの表面特性を解析する技術、LCNFを樹脂などの補強繊維として利用する技術について紹介する。

(休憩 14:35～14:45)

3) 14:45-15:15 高木 均 (徳島大学大学院 ソシオテクノサイエンス研究部)

「植物由来コンポジットの開発と機能性評価」

FRPの環境負荷低減のため天然繊維で補強した樹脂系複合材料(グリーンコンポジット)の開発が活発に行われている。この種の複合材料の特徴は、単に資源枯渇の面で有利な点だけでなく、植物繊維の内部構造に由来して、他の複合材料には無い優れた機能が発現することである。講演ではグリーンコンポジットの開発例について紹介すると共に、代表的な機能である断熱性に着目して複合材料の熱伝導率と繊維内部構造との関係を中心に解説する。

4) 15:15-15:45 藤田 和彦 (広島県立総合技術研究所 林業技術センター)

「CLTの強度性能」

平成27年には、世界でCLTの生産量が100万m³に達すると予想されているが、日本での生産量は少ない。これは、基準強度及び一般的な設計法の告示がないためであるが、国土交通省・林野庁発表の「CLTの普及に向けたロードマップ」によると、平成28年度には告示予定とされている。基準強度告示のためには数多くの強度試験が必要であるが、現在までに行われた試験について紹介するとともに、その強度性能について解説する。

5) 15:45-16:15 松前 智之 ((株)ウッドワン 技術開発部)

「内装木質建材と表面塗装」

木材や木質材料への塗装は、表面の保護、美観の向上、機能性の付与の3つを主な目的としておこなわれている。内装用木質建材は、居住者が日常の生活の中で目にし、直接触れる部分であることから、屋外用木質材料への塗装とは少し異なる性能が求められる。近年は印刷シートの意匠性も向上し、塗装製品とシート貼り製品との差別化も課題になっていると思われる。そこで、内装用木質建材での木材塗装について概要を紹介したい。

(休憩 16:15～16:25)

6) 16:25-16:55 山本 健 (広島県立総合技術研究所 東部工業技術センター)

「木材と加熱処理木材の光による変色」

木材には独特の木目や多様な色彩があり、視覚的な美しさにつながっている。また、木材に処理をして製造された木質材料にも木材と同等の美観が要求されることもある。木材表面の光による変色、太陽光による加熱処理木材の変色などについて、広島県立総合技術研究所で行った研究事例を紹介する。また、近年研究が進んでいる木質流動成形体の色についての事例も紹介する。

7) 16:55-17:25 坪倉 真琴 (池上産業(株))

「アセチル化木材アコヤの現状と今後の展望」

木材の耐腐朽性能や防蟻性能、寸法安定性能を向上させる方法として知られる「アセチル化」処理は、基本的に食酢の成分しか使用しないため、人や環境に対して安全・安心な処理方法である。そのようなアセチル化木材として、現在、世界で唯一量産化に成功している「アコヤ」の現状と今後の展望について、今回は環境性能についての話題も交えながら解説する。

<懇親会> 18:00～20:00 会場：福山ニューキャッスルホテル

10月23日(金)

<見学会>

9:00	集合	JR 福山駅前 集合場所の詳細は、講演会にてお知らせします。 貸切バスにて移動
9:40	宏栄産業株式会社	フローリング工場、古樽材を活かす加工技術の見学
10:50	池上産業株式会社	アセチル化木材「アコヤ」暴露試験の見学
11:30		貸切バスにて移動
12:15	解散	JR 福山駅前

■講演会、懇親会場所の周辺地図

講演会：福山商工会議所本所（山陽新幹線、JR 山陽本線 福山駅下車 徒歩5分）

懇親会：福山ニューキャッスルホテル（山陽新幹線、JR 山陽本線 福山駅南口前）



※ 参加申込：10月15日(木)までに下記事項を添えて、E-mail 又は FAX で木材の化学加工研究会事務局（森林総合研究所内）宛お申し込みください。

※ 参加申込記入事項：①氏名，②勤務先，③所在地，④講演会参加の有無と一般・学生の別，⑤懇親会参加の有無，⑥見学参加の有無，⑦電話番号，⑧FAX 番号，⑨E-mail アドレス，⑩次回案内送付のご希望の有無

※ 申込先：〒305-8687 茨城県つくば市松の里1

国立研究開発法人 森林総合研究所木材改質研究領域 木材の化学加工研究会事務局

片岡 厚 (TEL: 029-829-8295, FAX: 029-874-3720, E-mail : ykataoka@ffpri.affrc.go.jp)

松永正弘 (TEL: 029-829-8295, FAX: 029-874-3720, E-mail : cla@ffpri.affrc.go.jp)

※ 問合先：〒721-0974 広島県福山市東深津町3丁目2-39

広島県立総合技術研究所 東部工業技術センター

山本 健 (TEL:084-931-2906, FAX: 084-931-0409, E-mail : yamamoto@toubu-kg.pref.hiroshima.jp)

※ 個人情報の取り扱いについて：お送りいただいた個人情報は適切に管理し、案内の送付に限って使用させていただきます。

F A X 送信状

F A X 宛先：国立研究開発法人 森林総合研究所 木材改質研究領域
(木材の化学加工研究会 事務局) 松永正弘
F A X 番号：029-874-3720

第45回木材の化学加工研究会シンポジウム参加申込書

申込代表者氏名			
勤務先			
所在地	〒		
電話		F A X	
E-mail			

氏 名	講演会 (講演集合む)		懇親会 6,000	見学 1,500	講演集 (追加・別途) 購入 1冊 1,500
	一般 4,500	学生 2,000			

1. 希望, 該当する欄に○印を付けて下さい。
2. 講演集のみを希望の方は, 講演集追加購入欄に冊数を記入して下さい。宅配便でお送りします。
3. 参加費等は, 当日, 受付でお支払い下さい。
4. 申込締切は, 10月15日(木)です。

〒305-8687 茨城県つくば市松の里1

国立研究開発法人 森林総合研究所 木材改質研究領域 (木材の化学加工研究会事務局) 松永正弘
TEL: 029-829-8295, FAX: 029-874-3720

[次回シンポジウムのご案内について]

案内の送付をご希望にならない場合は, 次のボックスにチェックマークをご記入ください。

案内送付を希望しない